

栄養・食支援の事業者から 市町村栄養士に期待すること



つながっていくこと
connect our mind together



食べる喜びに安心を添えて
ヘルシーフードグループ

ヘルシーフードグループ概要



HEALTHY NETWORK

在宅患者への提供24000人/月
利用病院18,000軒（120万部）

在宅通販

病院
施設

卸

4600の病院・施設へ納品

メーカー

開発アイテム300種



蘇州和喜福食品有限公司

中国・蘇州に
独資子会社の設立

海外



日野市との包括協定



きっかけは
災害時の高齢者・病者用の食品提供

高まる弁当の重要性： 業界団体の設立



NSD

日本栄養支援配食事業協議会

日清医療食品株式会社

株式会社はあと&はーとライフサポート

ワタミ株式会社

株式会社シニアライフクリエイト

トース株式会社株式会社

株式会社ヘルシーネットワーク

株式会社武蔵野フーズ

キッセイ薬品工業株式会社

株式会社ニチレイフーズ

タイハイ株式会社

国分グループ本社株式会社

株式会社ベネッセパレット

株式会社ジョイント

株式会社シルバーライフ

株式会社ファンデリー

モルツウエル株式会社

株式会社トーカン

ひまわりメニューサービス株式会社

ドクターフーズ株式会社

サンワフーズ株式会社

グローバルキッチン株式会社

栗木食品株式会社

株式会社ソーシャルクリエーション

日東ベスト株式会社

株式会社ベルーナ

ヨシケイ開発株式会社

日本生活協同組合連合会

Agenda : 栄養・食支援事業者から市町村栄養士に期待すること

▼ 栄養士が必要とされる時代背景

医療費の観点から / 高齢者と栄養 / 人口変遷

▼ 事例 : 地域における食の取組

訪問栄養士チーム / 日野市との包括協定

▼ 宅配食の今後と課題

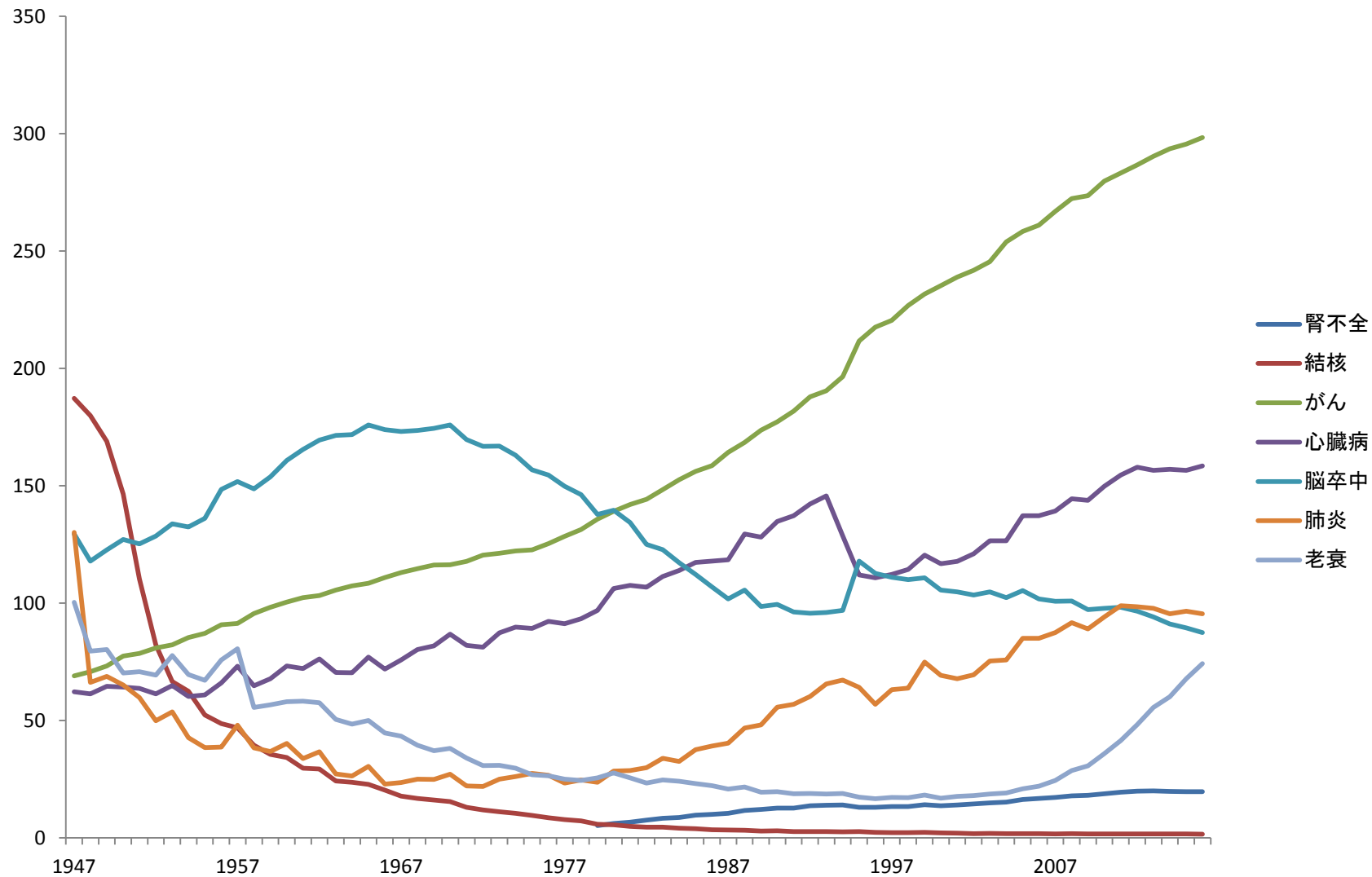
宅配食の担う役割 / 課題

▼ 市町村栄養士に期待すること

栄養士が必要とされる時代背景



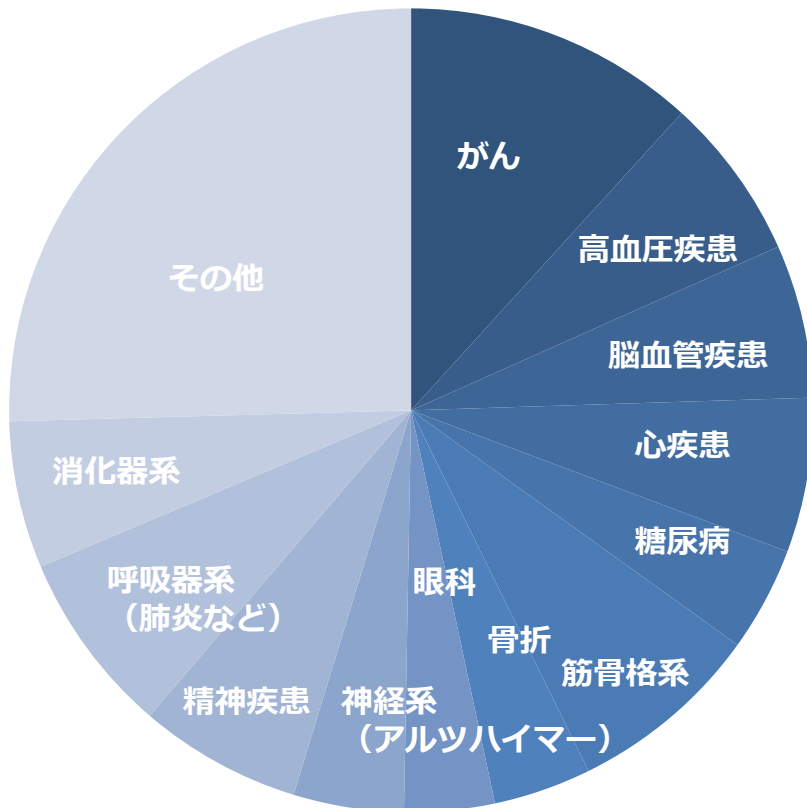
日本の死亡原因（人口10万人あたりの死亡率の推移）



医療費の内訳（2013年）

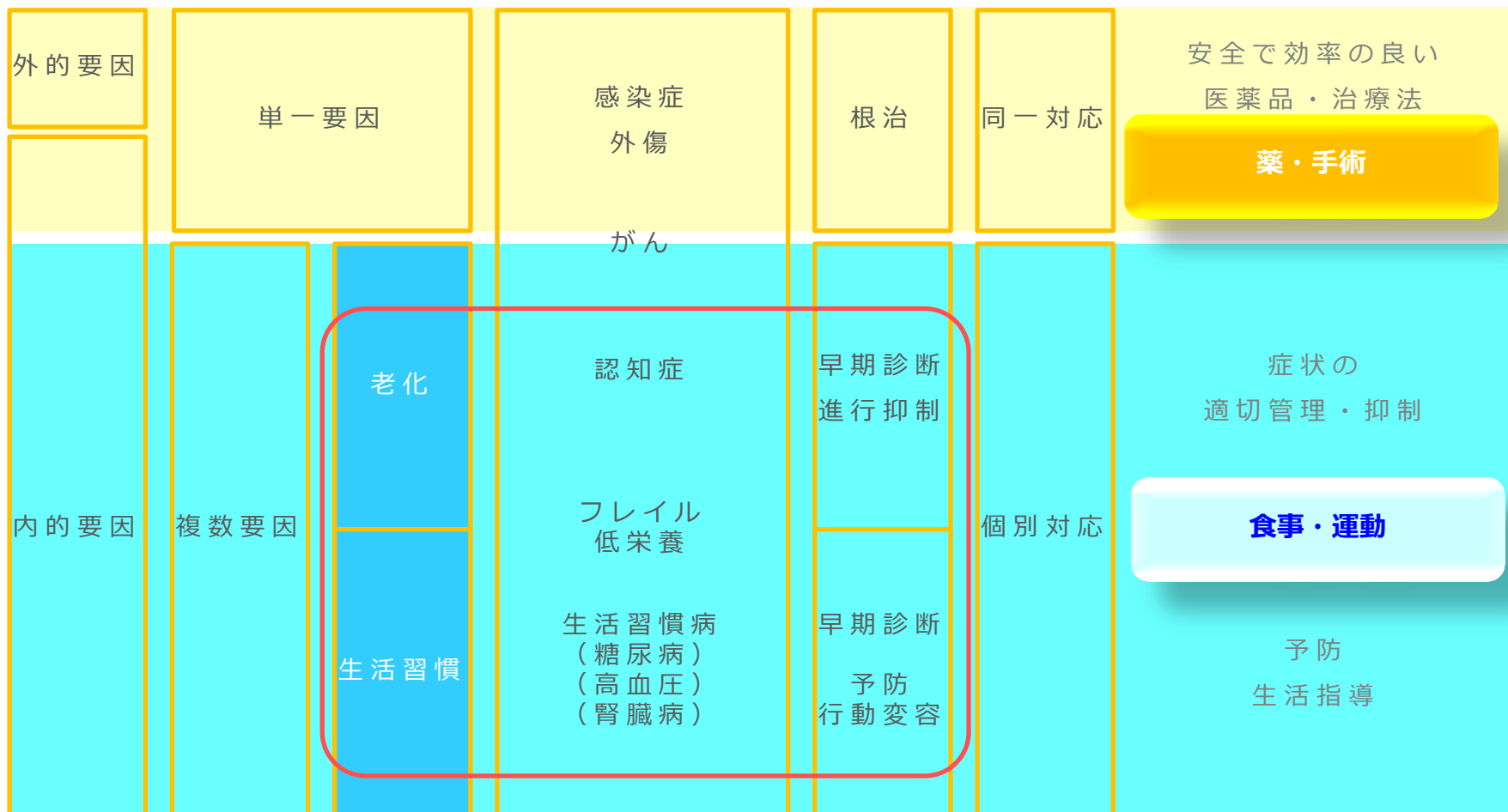
医療費2013年総額

28.7兆円

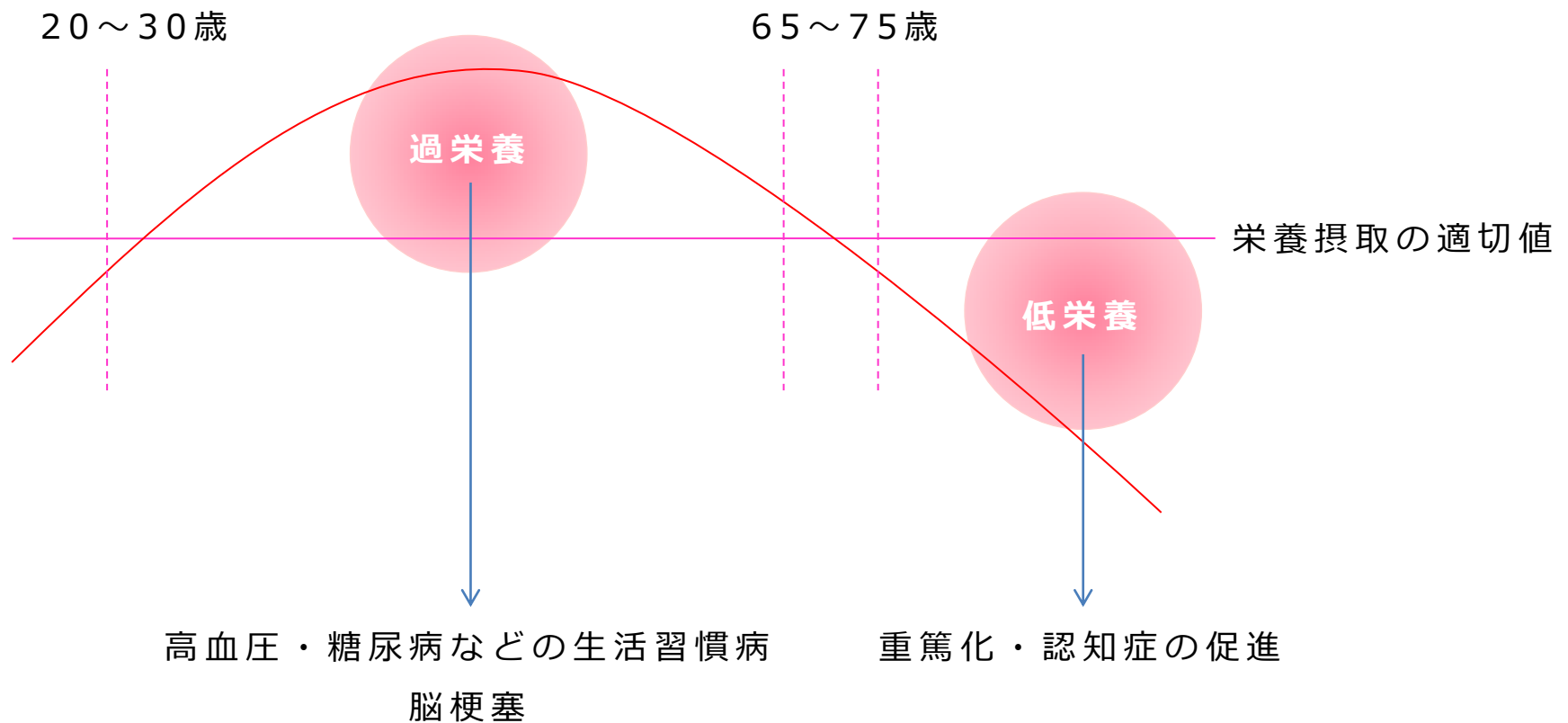


疾患名	医療費
がん	3兆3,792億円
高血圧疾患	1兆8,890億円
脳血管疾患	1兆7,730億円
心疾患	1兆7,878億円
糖尿病	1兆2,076億円
筋骨格系（関節など）	2兆2,422億円
骨折	1兆1,313億円
眼科	1兆0,431億円
神経系（アルツハイマーなど）	1兆2,768億円
精神疾患	1兆8,810億円
呼吸器系（肺炎など）	2兆1,211億円
消化器系	1兆7,015億円
その他（腎臓病など）	7兆3,111億円

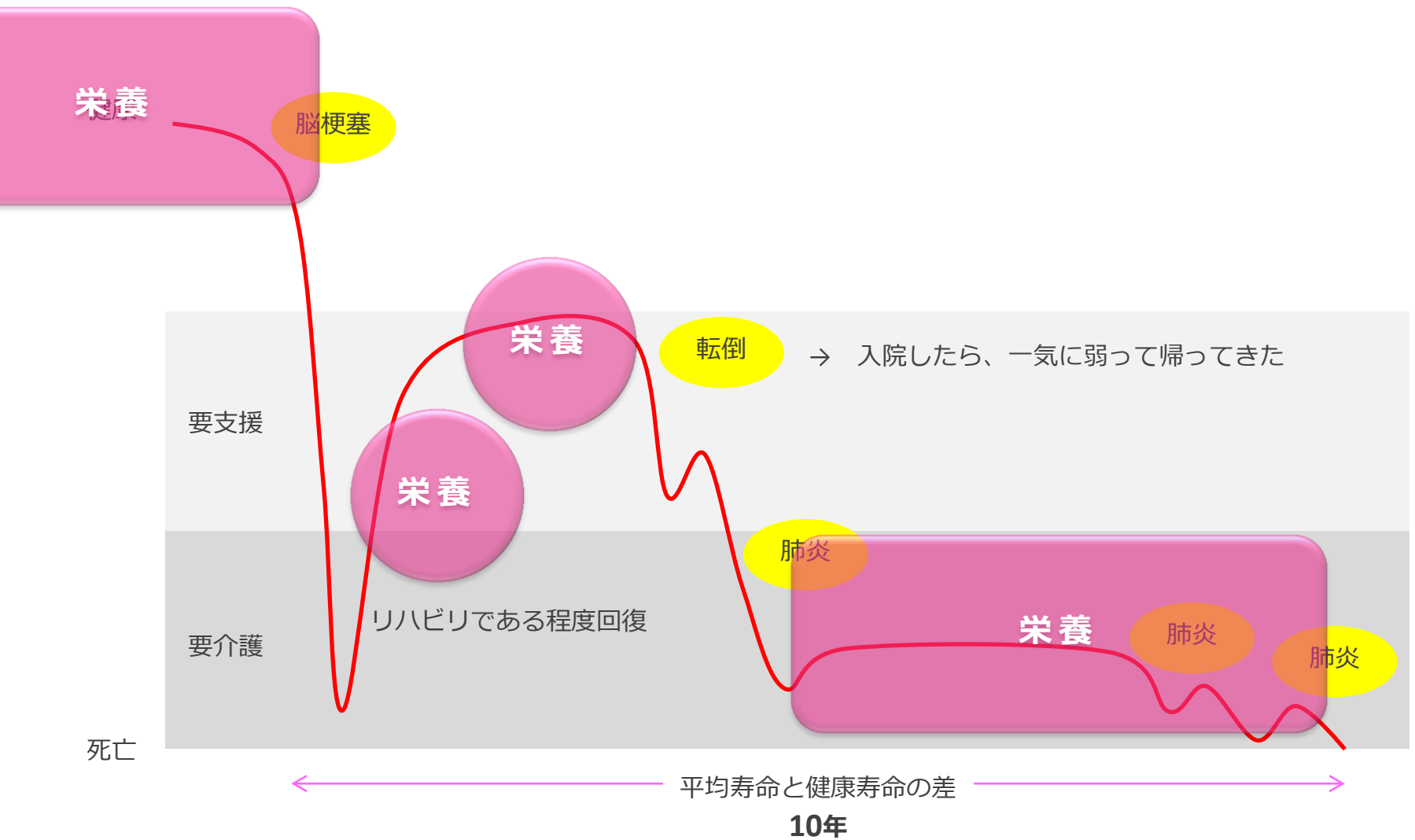
医療の在り方



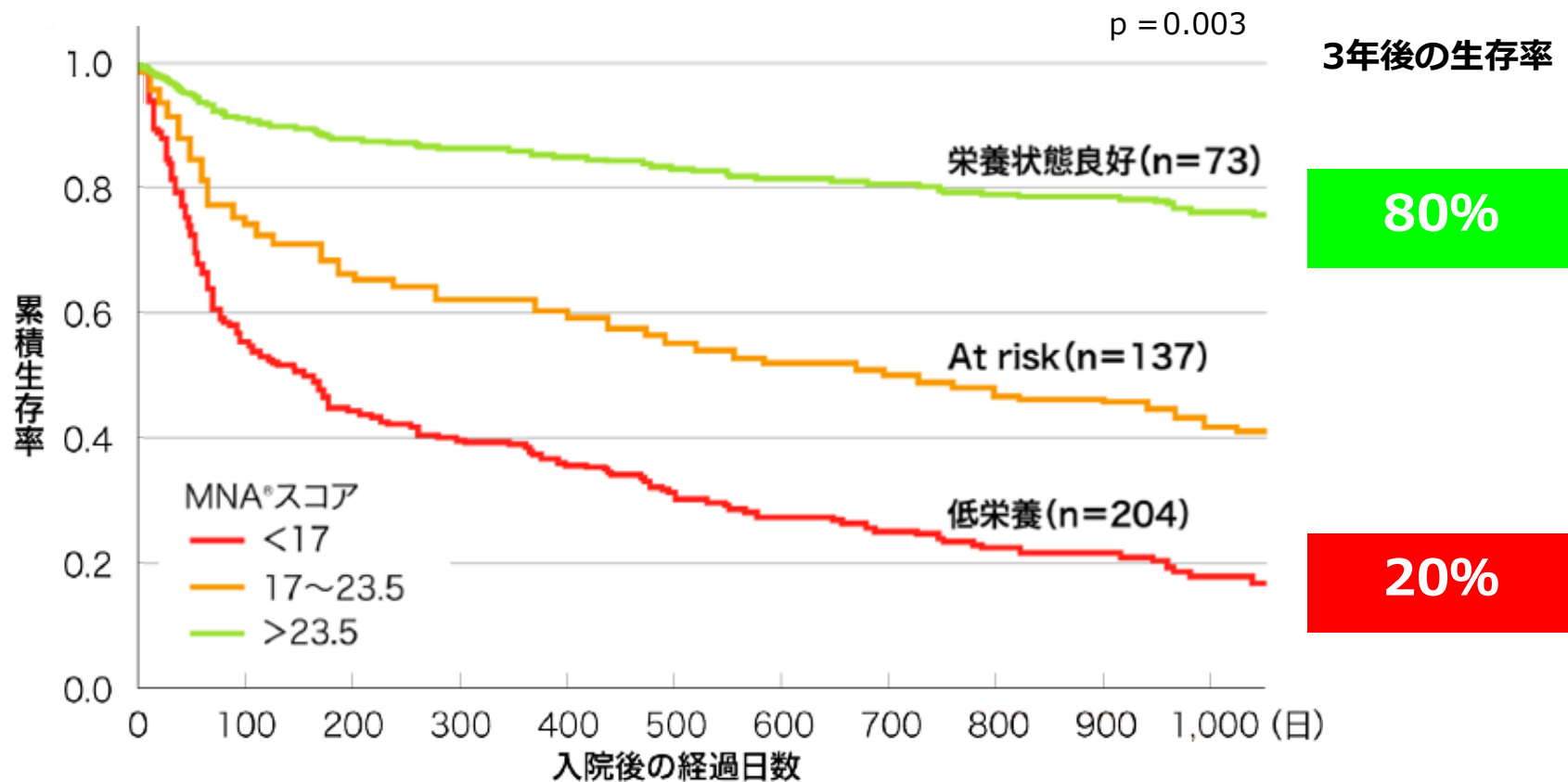
年齢と疾患・障害のリスク



イメージ： 高齢者の状態推移



栄養状態と生存率

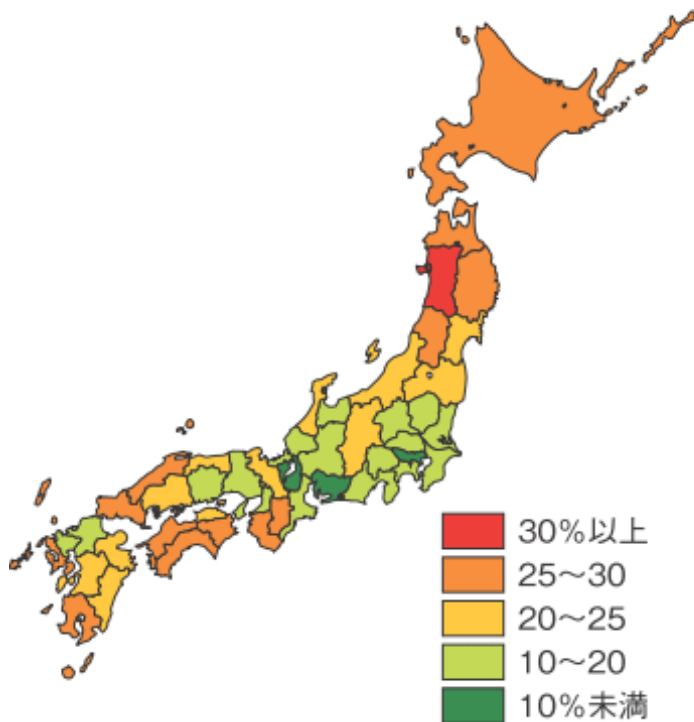


• Kagansky N, et al. Am J Clin Nutr. 82: 784-91. 2005

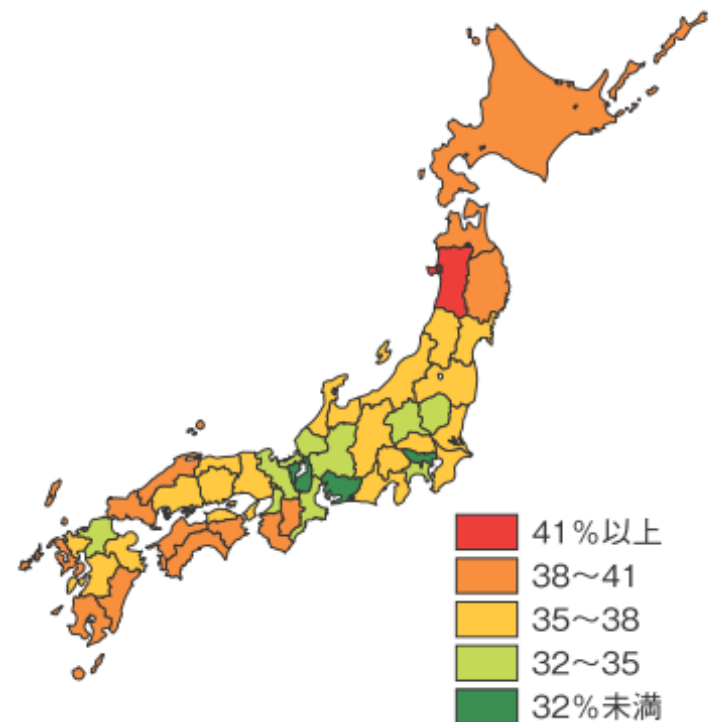
• MNA Basic, Nestle Nutrition, 2010

人口減少と高齢化

▼人口減少率（2005→2035）

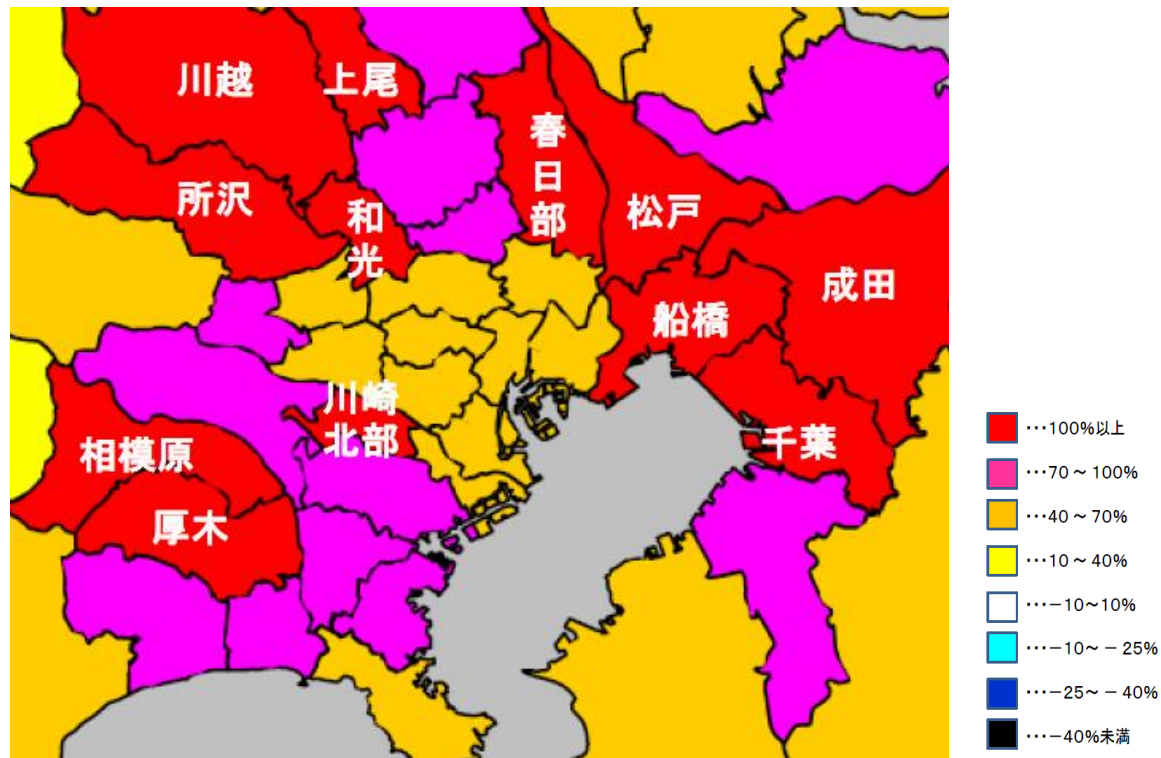


▼高齢化率（2035）



首都圏における医療・介護環境 1

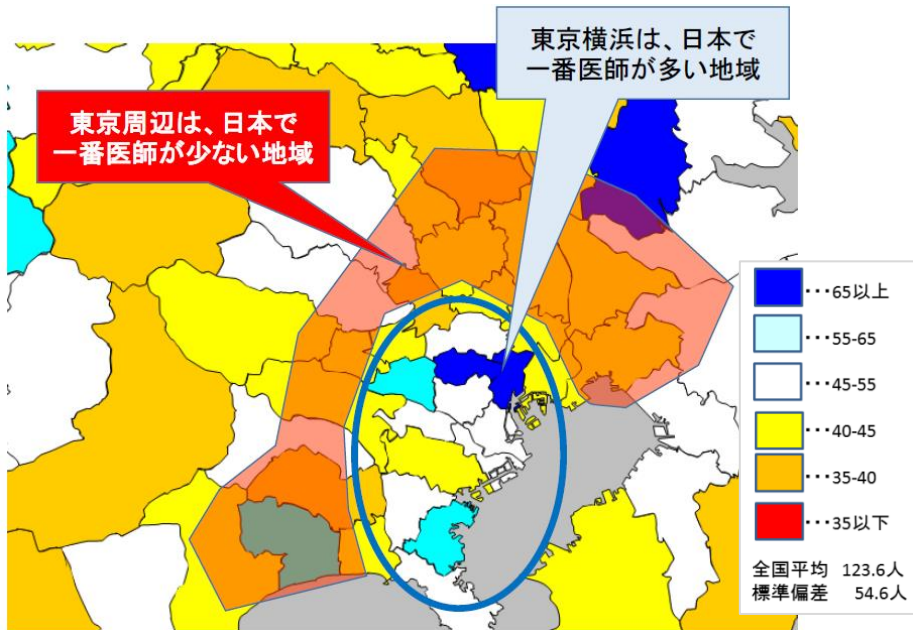
▼75歳以上高齢者人口の増加率
(2010→2025年)



現在の2倍への増加

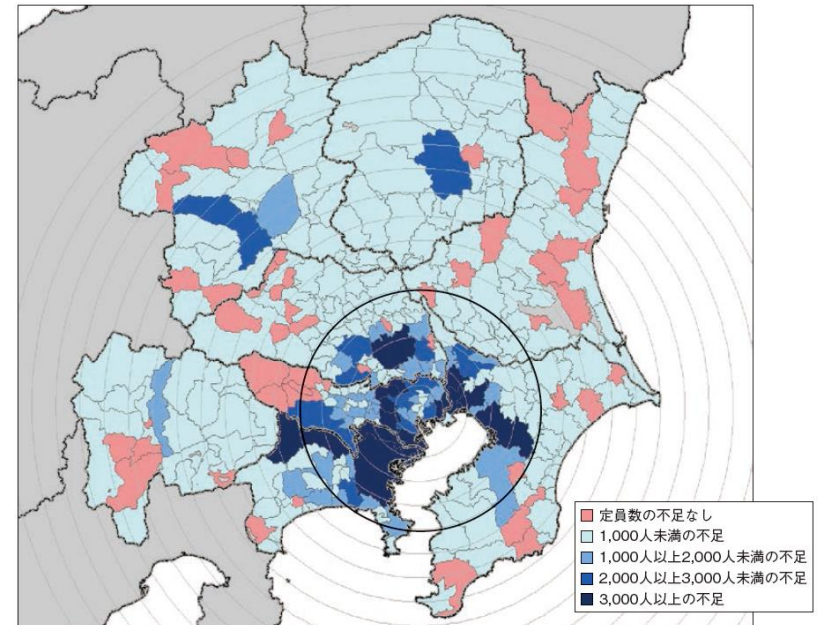
首都圏における医療・介護環境 2

▼人口10万人あたりの勤務医数



23区郊外の医師数が日本で最少に

▼高齢者人口に対する介護施設数（2035）



各エリアで2000～3000人分が不足

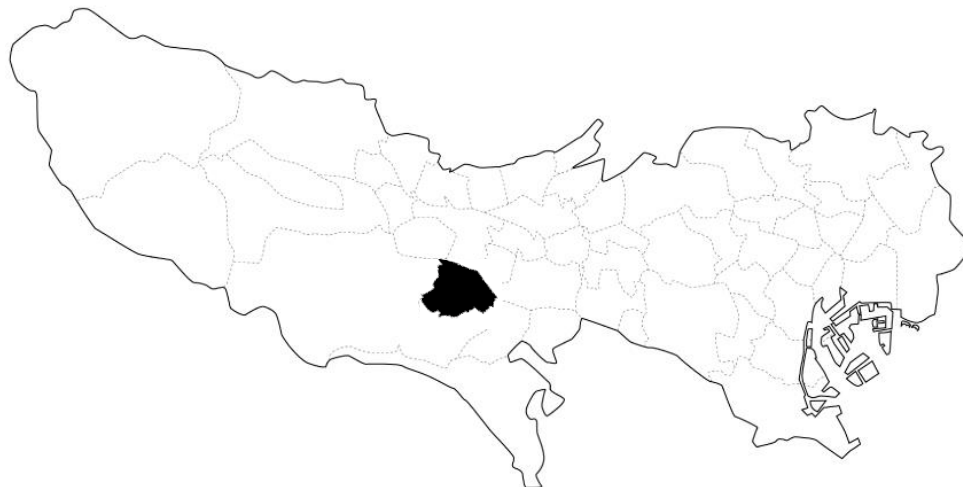
出典：国際医療福祉大学 高橋泰「全国の医療・介護の今後の需給見通しについて（2015.4.24）」

出典：国土交通省「平成27年度首都圏整備に関する年次報告」

事例： 地域における食の取組



日野市（東京都）概要



日野市

人口： 188,421人

高齢化率： 24.5%

日野市との協業



啓蒙活動



地域高齢者への
栄養サポート



栄養サポート体制
整備

日野市における活動

1. 啓蒙活動

- ・ 介護予防教室
- ・ 調理実習

2. 地域高齢者への栄養サポート

- ・ 摂食嚥下機能支援推進協議会
- ・ 介護と医療連携推進勉強会
- ・ 見守りお届けサービス
- ・ 栄養改善サービス

3. 地域サポート体制の整備

- ・ 地域栄養士会
- ・ 福ナビ

4. 地域への訪問栄養指導

介護食品



濃厚流動食



生存に必要な基本的栄養素をほぼ全てを満たした栄養ドリンク
エネルギー・たんぱく質・微量栄養素を充足
(1cc = 1.0Kcal~2.0Kcal / Max4.0Kcal)



とろみ調整食品



水分補給のために飲料にとろみをつける食品



toromi
power
smile



水分補給用ゼリー



嚥下障害患者でも飲みやすいようにした水分補給用ゼリー
水分摂取を目的とした廉価版や栄養強化も兼ねた食品など
ラインナップ有



やわらか食品



摂食障害、嚥下障害患者向けの食べやすい食品
加工されている食品から通常のミキサー食を
食べやすいように再成形する食品など幅広い
ラインナップ



栄養強化食品



低栄養患者や嚥下障害患者向け、高栄養のゼリーやムース状の食品
エネルギー・たんぱく質・微量栄養素を充足



たんぱく調整・エネルギー調整食品

たんぱく質・塩分調整

1 12 13 123

そらまめ食堂

たんぱく質と塩分を調整した「そらまめ食堂」冷凍食品は、容器のままレンジするだけで、いつでもどこでも食べられるので、調理に時間をかけたくない方や、忙しい方におすすめです。おいしいから無理なく続けられます。

1食あたり
たんぱく質 10g 以下
塩分 2g 以下

おかず (税込) 530円から
ちよっと小盛りが
ちよっとおい!

ごはん付き (税込) 814円から
おかず付き
満足度のふり!



腎患者向け



3 13 23 123

エネルギー・塩分調整 冷凍食品

ヘルシー食堂

新発売

- カロリー・塩分カット
- お手頃価格
- 簡単レンジ調理

498円~

1個から
ご注文
承ります。
クール便送料
972円(税込)

おかず
ごはん付き



糖尿病患者向け

食事の選び方

学会分類2013

0j, 1j
物性に配慮した離水の少ないもの

0j
嚥下訓練食品 0j
たんぱく質含有量が少ないゼリー

1j
嚥下調整食 1j
たんぱく質含有量は問わないプリン・ゼリー・ムースなど

0t
嚥下訓練食品 0t
jゼリー : jelly
tとろみ : thickness
学会分類 2013 (とろみ)の中間~濃いとろみたんぱく質含有量が少ないこと

2-1
嚥下調整食 2-1
均質でなめらかなもの(あまりさらさらしすぎないこと)

2-2
嚥下調整食 2-2
やわらかい粒等を含む不均質なもの

2-1 2-2
べたつかずまとまりやすいミキサー食、ペースト食など

3
嚥下調整食 3
形はあるが、歯や入れ歯がなくとも口腔内で押しつぶし、食塊形成が容易なもの

4
嚥下調整食 4
形があり、かたすぎず、ばらけにくく、貼りつきにくいもの。箸で切れるやわらかさ

他分類

学会分類 2013	嚥下食 ピラミッド	特別用途食品	UDF	スマイルケア食
0j	L0 (開始食)	許可基準 I	—	ゼリー状 0
0t	L3の一部 (とろみ水)	—	—	ゼリー状 0
1j	L1・L2 (嚥下食 I・II)	許可基準 II	かまなくてよい	ムース状 1
2-1	L3 (嚥下食 III)	許可基準 II 許可基準 III	かまなくてよい	ペースト状 2
2-2	L3 (嚥下食 III)	許可基準 II 許可基準 III	かまなくてよい	かまなくてよい 2
3	L4 (移行食)	—	舌でつぶせる	舌でつぶせる 3
4	L4 (移行食)	—	歯ぐきでつぶせる 容易にかめる (一部)	歯ぐきでつぶせる 4 —

栄養指導・食事療法のサポート

病気について知る **食事療法ガイド** みんなの食事療法 ランキング 耳より情報

食事療法の情報をご案内しています。



📖 病気について知る ↓

腎臓病・摂食嚥下障害・糖尿病・高血圧・肝臓異常症
低栄養・メタボリックシンドローム・炎症性腸疾患（IBD）
慢性呼吸器疾患・乳幼児の摂食嚥下障害

🍴 食事療法ガイド ↓

たんぱく質調整食品・介護・高栄養食品
エネルギー調整食品



介護・高栄養食品

介護・高栄養食品

誰のための食品？

●みんなが食事を楽しめるように配慮された食品

介護食品は高齢者向けとイメージされ、高齢に関する食事のこと、介護や認知症対策のための食品です。通常の食品や消化器疾患の食事療法で、一時的に普通の食事を摂りづらくなっている方も使いこなせます。通常の食品に比べて、やわらかい、とろみがついている、栄養が強化されているなど様々な配慮がされています。

病気について知る

患者さん支援サイト／ヘルシーネットロクナビ

- 腎臓病について
- 摂食嚥下障害について
- 糖尿病・高血圧 脂質異常症について
- 低栄養について
- メタボリックシンドロームについて
- 炎症性腸疾患（IBD）について
- 慢性呼吸器疾患について
- 乳幼児の摂食嚥下障害について

かたいものがかめないと
うまく飲み込めない
よくむせる



最近やせてきた
食欲がない
固形物が食べづらい

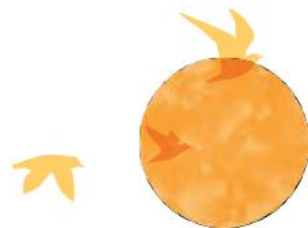


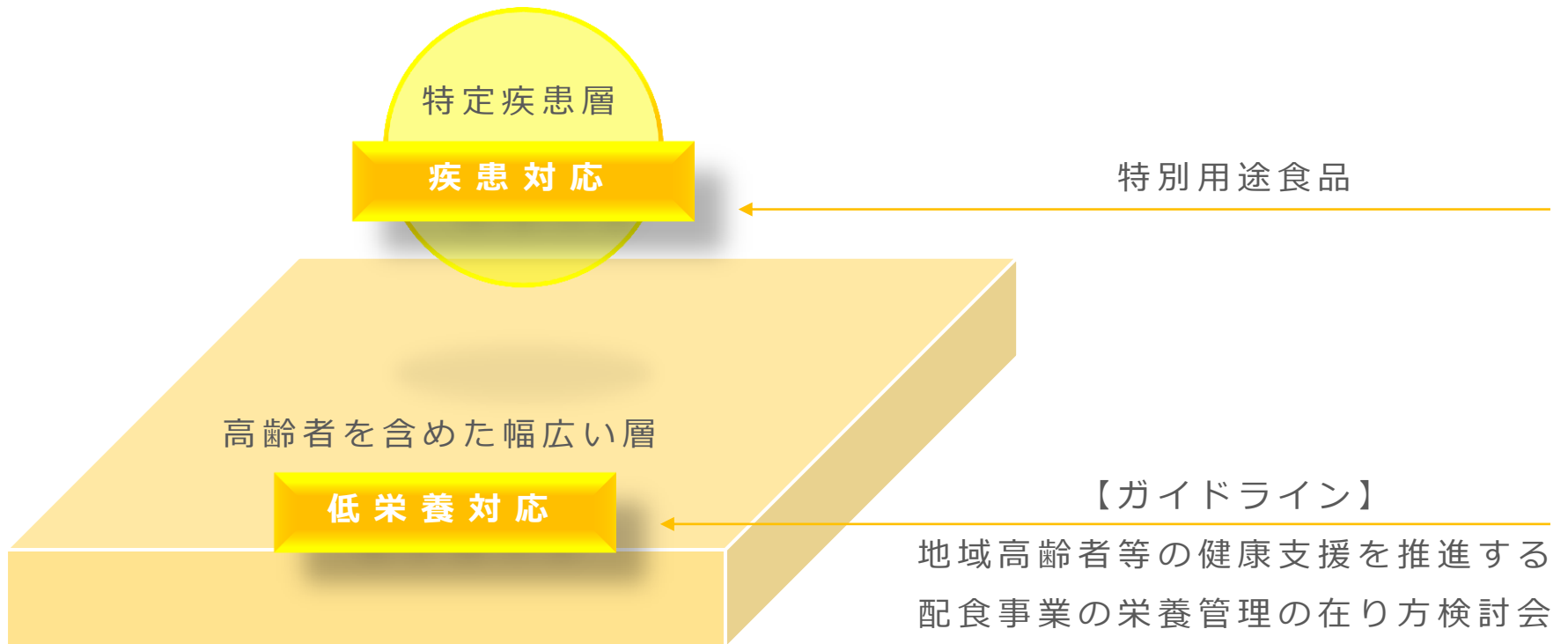
医療機関支援サイト／栄養指導NAVI

- 1 透析について
- 2 病態別 栄養指導ツール 透析について
- 3 低たんぱくが必要な理由
- 4 病態別 栄養指導ツール 低たんぱくが必要な理由
- 5 おいしく減塩のコツ
- 6 病態別 栄養指導ツール おいしく減塩のコツ
- 7 目標栄養値表
- 8 病態別 栄養指導ツール 目標栄養値表
- 9 嚥下障害について
- 10 病態別 栄養指導ツール 嚥下障害について
- 11 腸疾患の治療
- 12 病態別 栄養指導ツール 腸疾患の治療



宅配食の今後と課題





宅配食の課題

1. コスト構造
2. 人手不足
3. 社会的フレイル

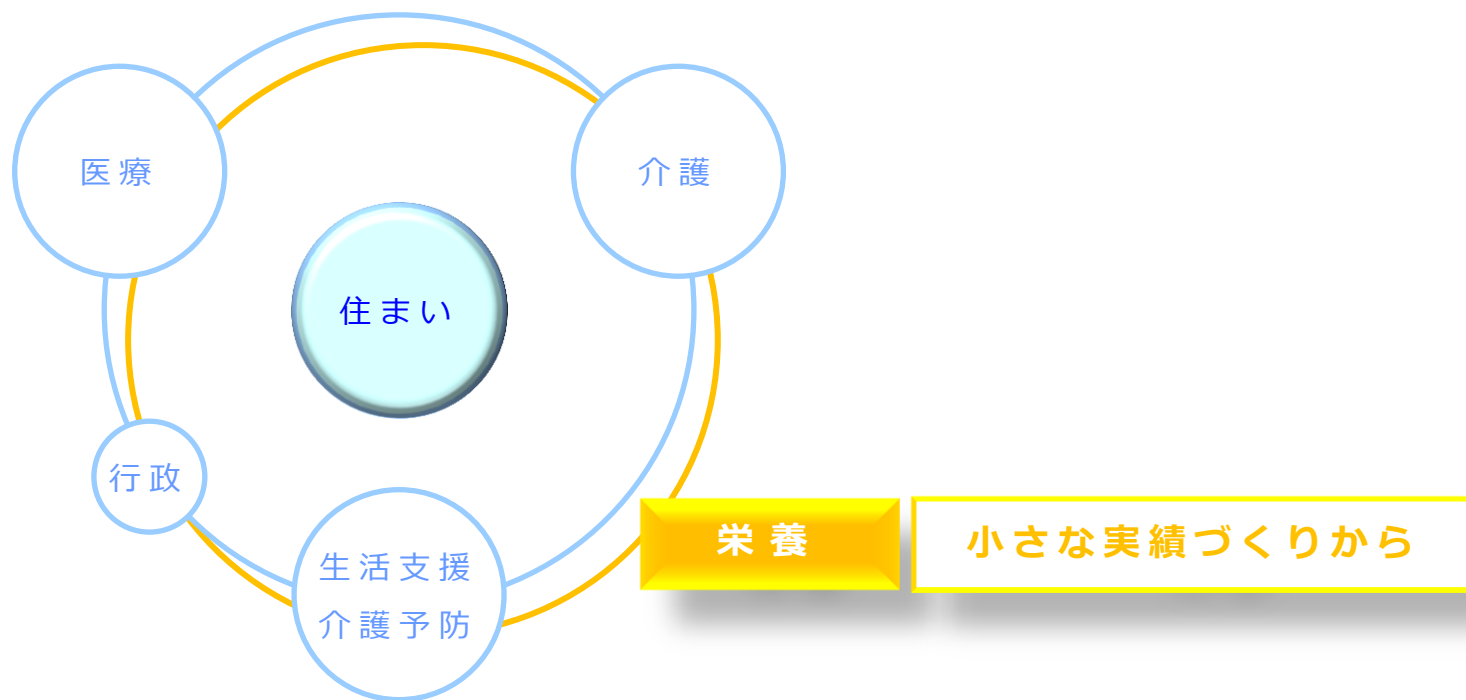


市町村栄養士に期待すること



地域包括ケア

- ▼2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現する
 - ▼認知症高齢者の生活を地域で支える
 - ▼高齢化の進展状況には大きな地域差が生じる
- 地域包括ケアシステムは、市町村や都道府県が**地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて**作り上げていく



まとめ

- ▼ これからは医療、生活のいずれにおいても「栄養」が大事な時代に
- ▼ 参考事例としての「日野市」「宅配食」
- ▼ 地域住民に「栄養」を届ける仕組み

最期まで口から食べる

食事は健康の基礎であると共に喜びそのもの



info@healthy-food.co.jp

